

本日、原町小学校から巣立つ、五十三名の卒業生の保護者を代表いたしまして、お礼のご挨拶をさせていただきます。

やわらかな日差しに、花のつぼみも膨らみ始めたこの佳き日に、立派な卒業式を執り行っていた頂き、誠にありがとうございます。

思い返せば六年前、昇降口前のしだれ桜が雪化粧をした入学式の日、大きなランドセルを背負い、期待と不安を胸に抱いて校門をくぐった子供達。運動会や音楽会、持久走大会など大きな行事を迎えるたびに、親がびっくりするほどの成長を見せてくれました。

上級生の後を早足について歩いていた通学班では、いつしか旗を持ち、または列の後ろから下級生を見守りながら、スクールガードの皆様に挨拶をして登校するようになっていました。

そして今、卒業生として中学校の制服に身を包み、立派に成長した姿を見せてくれました。これもひとえに、先生方のご指導の賜物であると心より感謝申し上げます。

最後の一年はコロナ禍の休校から始まり、すべての行事においてその影響を受けることとなりました。

ですが、教職員の皆様、地域の方々、保護者一同、そしてなにより児童全員の知恵と工夫で学年での運動会や音楽会、キャンドルサービス、卒業を祝う会など行うことができました。

今いる環境の中で、常に「今何ができるか」と考えて行動することは、大人になってもとても大切なことです。今年度はそうした力をつけるチャンスの年でもあったのではないかと思います。

逆境に負けず、子供たちのためにそのような機会を与えてくださったこと、深く感謝申し上げます。

毎月、季節のはらまっちを作って子供たちを楽しませてくれた校長先生。校内の児童作品の展示に力を入れてくださり、原町小がより楽しい場所となりました。

PTA 活動できめ細かいお心遣いをいただいた教頭先生。時々見せるおちゃめな一面のおかげで、遠慮なくたくさんのかんことを相談することができました。

毎朝、子供たちの登校を見守ってくださった教務主任の倉本先生。通学路の半分くらいまで歩いて、子供達の様子を見に行ってくださいました。

そして、厳しい時もあるけれど、子供達想いの元気で優しい先生方、安心して学校生活を送れるよう支えてくれた保健の先生、事務の先生、学童の先生、給食調理員の皆様、校務員の皆様、あそび場やスクールガード、読み聞かせや図書ボランティア、消毒などでお世話になった地域の方々。

子供達のためにありがとうございました。皆様からの愛情を受けた六年間はとても大切な日々でした。

最後に、原町小学校のますますのご発展と、ご列席いただいた皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げて、お礼の言葉とさせていただきます。

令和三年 三月二十四日

第六十一回卒業生 保護者代表
安藤美里